

豊高SGH フェアトレード班 通信

2016年
1月12日
第27号

フェアトレードとは途上国の生産者を対等なパートナーとし適正な価格で継続的に取引してフェア（公正）なトレード（貿易）をめざす取り組み。

インドネシア研修旅行 2

三日目 九時 ホテルを出発 API KRI の方と近隣のギリロヨ村に入りそこでバティック（ジャワのろうけつ染め）を体験。リーダーのナニさんから二〇〇六年の地震で村は大きな被害を受けたが多くのNGOのサポートで復興し、環境に優しい草木染めのバティック生産を行うようになったなどのお話を聞きその後、実際に口ウで模様を描き染色までやらせてもらいました。昼ご飯も出してもらいました。



村の中の散策もしました。熱帯林の中の村です。鶏が放し飼いされ牛の鳴き声が聞こえてきます。時間がゆっくり流れていました。小さなモスクからアザイン（祈りの呼びかけ）が流れていました。その後皮製品（主にワヤンクリの人形を作る）の工房を訪ねました。話を聞いた後、皮のしおりに着色する体験をしました。なかなか器用にやっていました。



最後に、皮なめしの作業を見学し、市内へ戻りました。宿泊所であるイスラム大学の宿舎でバンドンに行っていた小水力発電のチーム（中川先生、Oさん、Hさん、Tくん）と合流。APIKRIのメンバーである職人さん達の話が直接聞ける生活にも少し触れることができた一日でした。夕食はジョグジャカルタの繁華街マルボロ通りにあるデパートのフードコートで食ベタクシーで戻りました。デパートのスーパーで地元のカカオを使いリサイクルのパッケージで売っている高級チョコレートがありました。フェアトレードになるかも。

四日目 午前中は世界遺産ボロブドゥール遺跡の見学。現地日本語ガイドのアグスさんがここぞとばかり解説してくれました。午後はイスラム大学との交流会。二つの班ともパワーポイントを使って英語で今回の研修について発表しました。その後学生の班に一人ずつ入って懇談していただきました。最後にお互いに歌を歌ってお開き。イスラム大学の後はガジャ・マダ大学の大阪大学連携サテライトオフィスを訪問し、両大学が共同で進めるプロジェクトの説明を受けました。英語でのコミュニケーション力が大変だと感じました。



五日目 ジョグジャカルタを出発し一路シンガポールへ。乗り継ぎの時間を利用して、羽を伸ばしました。近代化されたシンガポールの街もみることができ同じアジアの多様性を実感することができたのではないのでしょうか。
六日目 深夜にシンガポールを出発し朝開空に到着。参加したAさんWさんにも感想を書いてもらい成果をシェアしたいです。

